

# カメラリポート



## 96 土佐のまほろば祭り 走りだそう すべてを未来に



南国市の夏の祭典「土佐のまほろば祭り」が八月三日、比江の北部スポーツレクリエーション施設でにぎやかに開催されました。

十っかり市民の祭りとして定着してきたまほろば祭り、走り出そうすべてを未来にと題し、今年も新しい取り組みがいくつかされました。市職員らによる「まほろば囃子」で幕を開け、ステージではクイズ「勝ち抜きまほろばバトル」や南国踊り、大衆音楽、牛おどりなどを披露。多彩な催しが次々と繰り広げられました。



紙風船に夢を託して

また、この日は姉妹都市である宮城県岩沼市から少年野球チームの一行、四十四人が来高しており、祭りに参加。岩沼踊りの披露や綱引きを楽しみました。

夕方ころになると、浴衣姿の女性や家族連れ、祭り気分が誘われる大人や子どもなど、人波でこった返し、露天では地区の体育会、学校PTA、農協婦人部、留学生など約四十余りが店を開き、「さあ、いらっしやい！」と威勢のいい掛け声が飛び、会場は熱気に溢れていました。

祭りは、香長中学校音楽部の演奏が始まる。最高潮に達し、その後まほろば祭りのテーマ曲ののって天女が舞い始めると約二百五十発の花火が夜空に打ち上げられ、訪れた人たちは、夏祭りムードを満喫していました。

### うちわくじ抽選会 景品の未引き換え

2等 №1541 1本 紙おれ研  
3等 下2桁 04 13本 紙おれ研

※引き換えは9月20日(金)までに



## 熱戦を展開

姉妹都市岩沼市から、少年野球選手チーム2チームを迎え、8月4日、香長中学校を会場に交流試合を行いました。

南国市からも選抜2チームが参加。交流試合とはいえ選手たちは真剣。岩沼チームの選手らは、「この暑い南国で思い切り熱い戦いをします」と、言うように随所に好プレーが連続。終日熱戦を繰り広げました。岩沼市の選手たちは、3日から5日までホームステイなど、試合以外の場所でも交流。再び顔を合わせるのが楽しみです。



8月2日、物部川河口にて航空機事故初動措置訓練が、35団体・約500人が参加して行われました。航空機事故対策関係機関連絡協議会が主催。

このような大規模訓練は10年ぶりで空港外で行う航空機事故訓練としては全

## 航空機事故大規模訓練実施



国初めて。訓練は南国航空機(123便)が離陸直後に墜落、炎上。機体中央部分が折れ、乗員乗客150人中、死者40人・負傷者50人・行方不明10人との想定で実施。

参加した人たちは、緊張した表情で、消火活動や救急活動にあたりました。



▼8月17日から20日まで、土佐清風園の開設25周年を記念した書道展が、サンシャイン南国で開催。体が不自由になった人やお年寄りらの力作に、来場者は「心を打たれる」と語っていました。



▲7月26日、市商工会青年部主催の「小学生のための企業訪問」が行われました。参加した小学3、4年生く6人は、ひまわり乳業南国工場や香美郡内の企業を訪問、ノートを取るなどして、熱心に学習していました。

▶夏休み親子クッキング教室が、八月一日に保健福祉センターで行われました。市食生活改善推進協議会が主催。当日は数多くの男の子も参加し、慣れない手つきで「夏の彩りらし」などの料理にチャレンジしました。



▲8月15日、第12回全国小学生陸上競技交流大会(8/13~25)に出場する日章小学校女子400mリレー競争の選手4人と大湊小学校男子100mの選手1人が、市長に出場報告をしました。

この中のリレー競争では、出場選手全員が同一の小学校から選ばれるのは県内で初めてのこと。大会での活躍が期待されます。



▲八月十六日、医師小学校児童が学校東側の「まほろば農園」で稲刈りを行いました。収穫されたお米は、九月に予定しているおにぎり給食の食材になるほか、独居老人に配布するお弁当や国府寮などにも分けられるそうです。



▼7月27日、左右山の身体障害者療養施設「国府寮」で納涼祭が行われ、入所者やその家族、大勢の市民らでにぎわいました。地域のの人たちと交流を深めようと、毎年行っているもの。会場には北陵中学校生らのボランティアグループの協力で開いたお好み焼きなど、たくさんの屋台が並び、入所者らは歌や踊り、ゲームを楽しみました。



▲7月27日、入所者に夏の気分を味わってもらおうと、特別養護老人ホーム「土佐清風園」で納涼祭が開かれ、入所者約80人や職員、ボランティア、地域の人が楽しみました。多目的ホールでは、長岡西部保育所の園児による大鼓演奏などのアトラクションも行われ、お祭り気分を盛り上げました。



▲7月27日、かっぱ伝説のある河内中社(縮生)の「河内祭り(かっぱまつり)」が今年も行われました。迫力ある夜相撲と「絵金の屏風絵」が飾られた境内は、キュウリ持参の参拝客で夜遅くまでにぎわっていました。



◀「白鷺荘」・「ケアポート南国」・藤原病院の三施設交流の納涼祭が、八月三日開かれました。入所者に祭り気分を味わおうと、毎年開いているもの。会場では、高知農業高校生らが車いすを押したり、食べ物運んだりのお世話を、お年寄りらは楽しいひと時を過ごしました。



▶7月27日、「夢の里」で納涼祭が行われました。今年が2回目。会場では福祉専門学校生らボランティアによる夜店も。お年寄りらは夜店の食べ物に舌鼓を打ちながら、次々と披露される歌や踊り、マリンパ演奏などに大喜びでした。

